

# 3年 道徳

主題名	心のこもった行動		
中心内容項目	A-2 主として自分自身に関する事(正直・誠実) 「ぬれた本～リンカーン」		
	令和元年	9月13日	2次公開
	児童	3年1組	33名
	授業者	小林香織	

## 1 主題設定の理由

### (1) ねらいとする道徳的価値(教師の価値観)

中心とする指導内容は、A「主として自分自身に関する事」の(2)「過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること」である。児童が健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするには、自己の過ちを認め、改めていく素直さを持つとともに、何事にも誠実に真心を込めて明るく楽しい生活を心がけようとする姿勢を持つことが大切である。社会生活において、過ちや失敗は誰にでも起こりうることであり、そのときに自分を守ろうとして、うそやごまかしをしてしまうと、結果として自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じる。それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、自分自身に対する真面目さであり、伸び伸びと過ごそうとする心の明るさである。このことは、自分自身を向上させていくことにもつながっていくと思われる。このような誠実な生き方を大切に育てたい。

### (2) 児童の実態(児童観)

本学級の子供たちは、3年生としての自覚の高まりと同時に、物事に対して自分なりの判断ができるようになり、自分や他人の言動をみつめることができるようになってきている。間違いをしたら謝ることは誰もが知っている。しかし、この時期の児童は、不利な立場に立たされることを回避しようとして、うそをついてしまうことがある。また、謝る言葉さえ伝えればよいと思っている子もいる。自分や相手の心と向き合って正直に行動するとはどういったことなのか、この教材を通して考えさせていきたい。

#### 【事前アンケート】

内容	結果
例えば・・・ ボール投げをしていて、窓ガラスをわってしまいました。その時のあなたの心は、正直に言えない心ですか。それとも、正直に言える心ですか。	<b>言えない心 14名</b> (理由) ・ひどくおこられたくないから。 ・今まで、正直に言えなかったから。 ・先生に怒られるから。 ・怒られたくないから。 ・正直に言ったら怒られるかもしれないから。 ・なぜなら勇気がないから。 <b>言える心 19名</b> (理由) ・なぜなら、よければ怒られるし、反省せずまたやってしまうから。 ・正直に言ったら気持ちがすっきりする。 ・正直に言わないと罪が重くなる。 ・だまっていたら、相手が悲しむから。 ・早く行ったほうが怒られないかもしれないから。 ・正直に言わないと他の人が悪いことになるから。 ・正直に言わないと心が痛いし、言ったほうが心がすっきりする。
自分がしてしまったことを、うそをついたり、だまっていたりして、ごまかしたことはありますか。	<b>あります 27名 (どんなことかな?)</b> ・兄弟げんかを相手のせいにした ・ご飯のつまみ食いをしたとき。 ・家で花にぶつかったとき、土がこぼれた。 <b>ありません 6名 (なぜ正直になれるの?)</b> →正直に言わないとあとでひどいことになるから。 →本当のことを言わないと心もやもやするから。

### (3) 教材への思い(教材観)

リンカーンの少年時代の逸話である。借りた本を不注意から濡らしてしまい、どうしたらよいか思案にくれるが、正直に話して謝り、その気持ちを示すために3日間働く。その誠意ある行動に対して、本の持ち主がリンカーンに本をくれる。この話を通して、リンカーンの誠実さについて感じ取れるようにしたい。そして、自分の生活を振り返り、そのままにはおけない誠実さなどに気づき、正直に行動することの大切さや素晴らしいさについてたしかにし、心をこめて行動しようとする気持ちを深めていきたい。

## 2 総合単元ユニットとの関係

「自分さえよければそれでいい。相手のことは関係ない。なるべく怒られたくない。」そんな思いからか、友達と関わろうとしない、周りを見ない様子が見られた子供たち。少しずつ「周囲への心配り」ができるようになってきた。この学習を通して、「過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること」という心を大切にすること、そして自分の思いや相手の思いに真っすぐに向き合い、正直に、素直に、真剣に伝えることについて考え、よりよい人間関係づくりの基盤になるよう、今後の学校生活につなげてあげたい。

## 3 研究との関わり

**学び合う雰囲気づくりの工夫**  
教師と子供の温かい人間関係、子供同士の認め合いや励まし合いのできる関係によって、お互いが心を開き、自由に話し合うことができるようにする。

**問題意識をもつようにする導入の工夫**  
子供が自分の問題として捉え、その追求や解決について必然性をもって行うようにする。

**自我関与させる展開の工夫**  
子供が読み物教材の登場人物に託して自らの考えや気持ちを素直に語る中で、道徳的諸価値の理解を図る。

**生活とつなげる振り返りの工夫**  
学習内容や学習活動を俯瞰して見つめる振り返りをする中で、自分の生活や行動、今後の発展へとつなぐことに着眼する機会とする。

## 4 本時の学習

### (1) 本時のねらい

- ・過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気よく生活しようとする心の心情を育てる。

### (2) 本時の展開

	活動内容・予想される児童の反応 (○発問 ◎中心発問)	教師の支援・評価・研修との関わり ●支援 □評価指標 ◎研修との関わり
価値への方向付け	<b>1 ねらいとする道徳的価値に対する興味・関心を高め、「課題」を設定する</b> ○担任の子どもの兄弟げんかを例に考える。 ・夏休みの宿題の絵を描いている時にぶつかって絵がよごれた「あ～ごめんごめん。」と言ったが・・・ ○ごめんねの気持ちは伝わったかな。 ・伝わった ・伝わっていない (問題意識をもたせる) ○今まで、「ごめんね」さえ伝えれば、それでよいと思ったことはなかっただろうか。 <b>《本時の課題》</b> ごめんねの気持ちはどうしたら相手に伝わるのかな。	●学び合う雰囲気づくりを行う。 ◎ある日常の場面を提示し、生活に結び付けながら課題に迫る。
	<b>2 教材「ぬれた本」を通して、「課題」を追求する</b> ○話の中のリンカーンに何があったのだろうか。気になった行動はありますか。 ・わざとではないけど、本をぬらしてしまった ・あやまったところ ・三日間働いたところ ○自分だったら、どうしますか。それはなぜ。 ・あやまるけど、働くことまでできないかも ・こんなふうにあやまることできないかも ・相手に悪いから、正直にあやまる ・相手の事を考えて、勇気をだす	●「お話の中のリンカーンに何があったのか」と教材を読む視点を与える。 ●リンカーンの置かれている状況や言動、言動を生む心が分かりやすいように板書を図式化し、子供たちの思考を助けるように構成する。 ●リンカーンの姿に自己投影させながら課題にせまっていける。 ●必要に応じて、ペア学習、自由交流を取り入れ、意見の交流をさせる。
	○三日間働くという行動をしなれば、許してもらえなかったのだろうか。 ・そうではないと思う。しんけんにあやまったから許してもらえた ・働かなくても許してもらえたと思うけど、より気持ちが伝わった ◎リンカーンの行動に、どんなよさがあるのだろうか。 ・正直さ、素直さ、真剣さがあつたから、相手に気持ちが伝わった ・思ったことを行動することで、自分も相手も気持ちがいい、次につながる	◎リンカーンの思いに共感させながら、心のこもった行動について考える。
価値の追求・把握	<b>《共通解》</b> ・自分に嘘をつかず、相手に自分の思いを正直に伝えることが大切。	●子供たちが、学習したことと日常生活とのつながりを意識できるように、アンケートを提示する。 ◎本時の学習で学んだことについて、自分のこれまでとのつながりや、これからの生き方にどのように生かすことができるかを考える □過ちをしてしまった時は、心のこもった行動をする意欲をもつことができたか。 <b>【発言・ノート】</b>
	<b>3 価値について納得解をまとめる</b> ○うそをついたりごまかしてしまったりした友達に、自分だったらどんなアドバイスをおくれますか。(事前アンケートを使用する) ・本時の学習を振り返り、感想をワークシートにまとめる。	
価値の自覚		
意欲化		

### (3) 本時の評価

- ・過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気よく生活しようとする心の心情を育てることができたか。